

地域だより

北恩加島地域まちづくり 実行委員会



全ての学年に福祉授業を

北恩加島地域では、子どもからお年寄りまで、みんながお互いに見守り助け合う地域にするために、小学校と連携し、全学年に福祉授業を行うことを目標に活動しています。

令和5年度も1年生は地域の方との世代間交流として昔遊び、2年生・5年生は認知症サポーター養成講座、3年生は1学期に車椅子・アイマスク体験、2学期に高齢者とのボッチャ対決、3学期にはボッチャ対決の時に指導していただいた障害者自立支援センター〈スクラム〉さんに『障害ってな〜に?』のお話をいただきました。4年生にも障がいについてのお話を〈スクラム〉さんと生活介護施設〈ユートピア にし〉さんがクイズやゲームを交え、わかりやすく教えていただきました。当事者の方や支援者の方に来ていただき、お話を聞く機会は子どもたちにとって大切な時間になったと思います。

6年生には高齢者疑似体験で身体の不自由さを知ってもらうと共に、視野の制限を体験できるゴーグルとイヤーマフを付けてコースを歩いてもらうことで、子どもたちには想像もできない不便さを、知ってもらうことができました。また、大正北中学校の2年生にも認知症サポーター養成講座を行うことができました。そして、小学校と中学校の両方でPTA福祉座談会の開催もでき、保護者の方たちにも大変喜んでいただきました。こうした若い世代に福祉について考えてもらう機会を提供することで、高齢者や障がい者だけでなく、みんなが住みやすい北恩加島のまちづくりにつながると思っています。



高齢者疑似体験(6年生)



認知症サポーター要請講座(5年生)



ボッチャ(3年生)